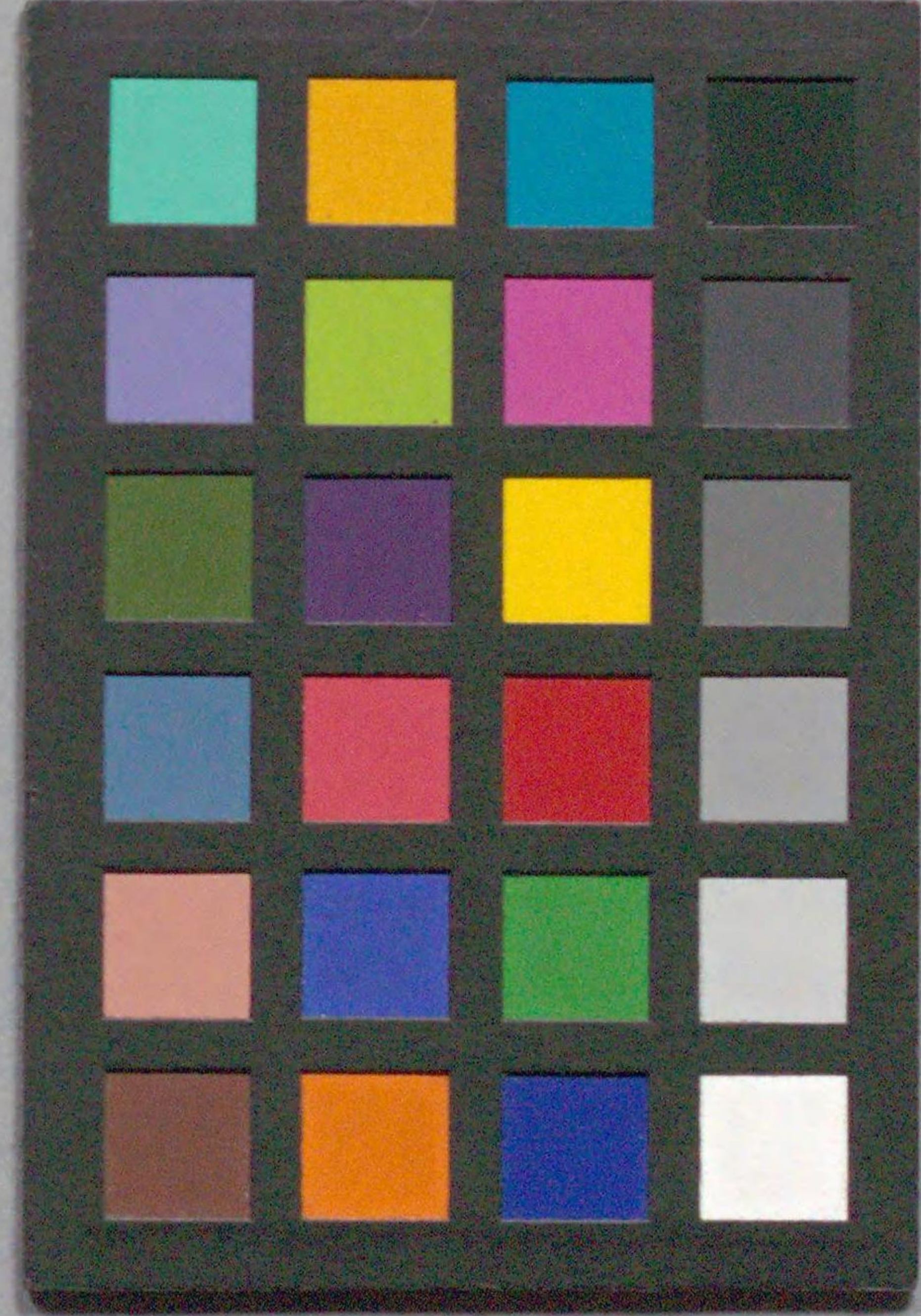




国立国会図書館 高尾船字文 5巻 208-715



ガラス使用

高尾船字文

曲亭馬琴翁編

初編下冊

歌川國貞画圖

天保六乙未春

鶯屋重三郎
柴屋文七
合板

高尾船字文箋二冊

中世文庫

一曲の琴柱雁乃玉章と通し

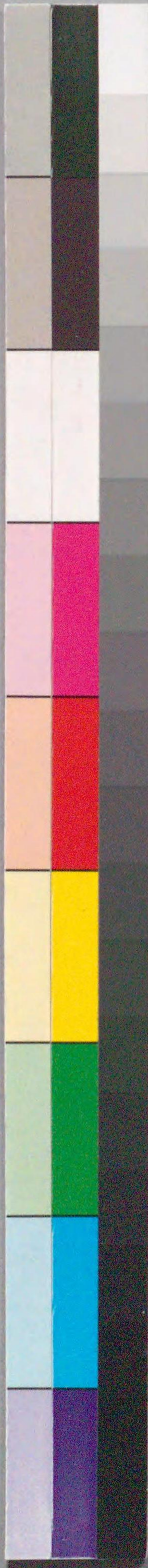
附、まの教頭林沖妻
其災難六尺乃練

女之助過く白席の間よ

附、まの禁軍船子頭
其高休執権職
王の井筒女之助

明治
42.9.3
陸求

高尾二



あつきさあ見るとり
仁木左衛門直則

浪山

あざう

あまのつむぎ

そのあくあつちう

猫御と初巻

散き棚の冷雲

早了を

天井よ

宵ん夜の

月の駿馬の國家を

密書もく巻

松の巻

手塚梅
國貞の巻



208
5
715

高尾船字文

十五

寛政八丙辰年元版

天保六乙未年正月再板

小傳馬町

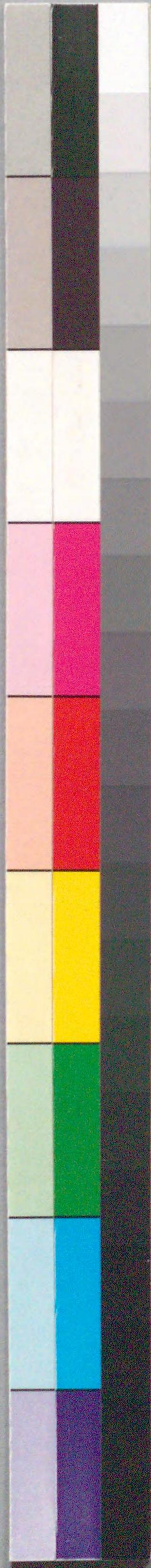
葛屋重三郎

東都

芳町河岸通甚左衛門

柴屋文七

合梓



国立国会図書館 高尾船字文 5巻 208-715



ガラス使用

